

安 全 安 心

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します	コスト合計	906,715千円	945,765千円	975,035千円			2,827,515千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
健康づくり推進事業	44,578千円	52,566千円	0千円	97,144千円	健康福祉部 健幸政策室
保健対策事業	119,007千円	35,044千円	0千円	154,051千円	健康福祉部 健幸政策室
予防事業	341,527千円	8,761千円	0千円	350,288千円	健康福祉部 健幸政策室
健康診査事業	227,604千円	91,571千円	0千円	319,175千円	健康福祉部 健幸政策室
特定健康診査実施事業	9,363千円	0千円	0千円	9,363千円	健康福祉部 健幸政策室
特定保健指導実施事業	3,144千円	0千円	0千円	3,144千円	健康福祉部 健幸政策室
後期高齢者健康診査実施事業	970千円	0千円	0千円	970千円	健康福祉部 健幸政策室
歯科保健推進事業	17,435千円	17,522千円	5,943千円	40,900千円	健康福祉部 健幸政策室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合</p> <p>79.9 74.2 70.4 71.4 83.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	健幸マイレージの拡充やきんたくん健幸体操の普及により、少しずつではあるが、市民の健康づくりへの意識に変化がみられる。		
	目標達成に向けた今後の課題	健幸マイレージの拡充やきんたくん健幸体操の普及について、市民へのさらなる周知啓発に取り組む。		
	担当課	健康福祉部 健幸政策室		

評価指標				傾向
2 定期的に歯の検診を受けている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>定期的に歯の検診を受けている市民の割合</p> <p>43.6 42.2 44.0 42.9 45.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	若年層からの成人歯科検診(歯周病検診)の継続実施や8020運動の周知啓発に努めたが、昨年を下回る結果となった。		
	目標達成に向けた今後の課題	事業の継続・充実により、目標値の達成をめざし取り組んでいく。		
	担当課	健康福祉部 健幸政策室		

評価指標				傾向
3 「食事をすることが楽しい」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「食事をすることが楽しい」と思う市民の割合</p> <p>68.7 63.5 59.8 62.8 80.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	平成27年3月に実施した初期食育推進計画の評価となる市民調査の集計・分析を行い、報告書と市民啓発用の同概要版を作成した。		
	目標達成に向けた今後の課題	平成28年度は「かわにし食育フォーラム」の実施年であり、学識経験者の講評・提言をふまえ庁内連携・地域協働へ更なる啓発に努める。		
	担当課	健康福祉部 健幸政策室		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向														
4 むし歯のない3歳児の割合	定義	方向性	3歳児健康診査でむし歯が確認されなかった子どもの割合	<p>虫歯のない3歳児の割合</p> <table border="1"> <caption>虫歯のない3歳児の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>85.6</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>86.1</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>86.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>88.8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>87.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合 (%)	基準値	85.6	H25	86.1	H26	86.7	H27	88.8	H28	87.0	目標値	87.0
	項目	割合 (%)																
	基準値	85.6																
	H25	86.1																
H26	86.7																	
H27	88.8																	
H28	87.0																	
目標値	87.0																	
実績値の評価・分析		新たに歯科健診の対象年齢を増やし、乳幼児の歯の大切さを啓発するとともに、歯のケアの指導等を行ったことで、割合の向上に繋がった。																
目標達成に向けた今後の課題		保護者への口腔ケアに関する知識の普及啓発が、一定の効果を上げたものと推測され、引き続き普及啓発に努めていきたい。																
担当課		健康福祉部 健幸政策室																

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	18 安心して医療が受けられる環境の整備に努めます	コスト合計	3,334,902千円	3,529,143千円	3,683,111千円			10,547,156千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
福祉医療管理事業	55,898千円	21,483千円	0千円	77,381千円	健康福祉部 医療助成・年金課
国民健康保険事業特別会計繰出金	1,485,041千円	0千円	0千円	1,485,041千円	健康福祉部 国民健康保険課
後期高齢者医療事業負担金	1,594,519千円	0千円	0千円	1,594,519千円	健康福祉部 医療助成・年金課
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	386,214千円	0千円	0千円	386,214千円	健康福祉部 医療助成・年金課
後期高齢者健康診査助成事業	34,023千円	0千円	0千円	34,023千円	健康福祉部 医療助成・年金課
保健センター維持管理事業	16,365千円	0千円	291千円	16,656千円	健康福祉部 健幸政策室
応急診療所運営事業	13,910千円	0千円	0千円	13,910千円	健康福祉部 健幸政策室
救急医療対策事業	22,611千円	8,761千円	0千円	31,372千円	健康福祉部 健幸政策室
歯科診療事業	43,995千円	0千円	0千円	43,995千円	健康福祉部 健幸政策室

【施策評価指標】

評価指標				傾向												
1 市内の医療環境に満足している市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>市内の医療環境に満足している市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>割合</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>51.6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>50.7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>52.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>54.2</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>60.0</td></tr> </table>	年次	割合	基準値	51.6	H25	50.7	H26	52.7	H27	54.2	目標値	60.0
	年次	割合														
	基準値	51.6														
	H25	50.7														
H26	52.7															
H27	54.2															
目標値	60.0															
実績値の評価・分析		通常時間帯の診療の外、小児救急や休日診療など、通常時間外の医療の確保に努め、市民の満足割合が増加傾向にある。														
目標達成に向けた今後の課題		市民の安心、安全のため、医療の充実を図り、目標の達成をめざしたい。														
担当課	健康福祉部 健幸政策室															

評価指標				傾向												
2 かかりつけ医を持っている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>かかりつけ医を持っている市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>割合</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>75.8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>76.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>69.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>68.1</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>80.0</td></tr> </table>	年次	割合	基準値	75.8	H25	76.0	H26	69.4	H27	68.1	目標値	80.0
	年次	割合														
	基準値	75.8														
	H25	76.0														
H26	69.4															
H27	68.1															
目標値	80.0															
実績値の評価・分析		身近な健康管理のため、かかりつけ医の重要性を啓発していたが、割合は減少している。														
目標達成に向けた今後の課題		引き続き啓発等に努め、目標値の達成をめざしたい。														
担当課	健康福祉部 健幸政策室															

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	19 市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	コスト合計	2,912,051千円	1,587,081千円	2,329,070千円			6,828,202千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度			合計	担当課
	事業費	職員人件費	公債費		
病院事業会計支援事業	2,329,070千円	0千円	0千円	2,329,070千円	総合政策部 財政課

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 患者満足度	定義	方向性	外来患者アンケートより	<p>患者満足度</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>65.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>59.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>61.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>66.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>65.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>65.0</td></tr> </table>	年次	値	基準値	65.0	H25	59.9	H26	61.4	H27	66.2	H28	65.0	目標値	65.0
	年次	値																
	基準値	65.0																
	H25	59.9																
H26	61.4																	
H27	66.2																	
H28	65.0																	
目標値	65.0																	
実績値の評価・分析			医師、看護師など職員に対する満足度、医療水準等に対する満足度が増加した。診療体制の充実などによるものと考えられる。															
目標達成に向けた今後の課題			引き続き、患者満足度の向上に向け、適切な診療体制を維持するとともに、職員の接客向上の取り組みを進めていく。															
担当課			市立川西病院 経営企画課															

評価指標				傾向														
2 経常収支比率	定義	方向性	経常収益(医業収益+医業外収益)÷経常費用(医業費用+医業外費用)	<p>経常収支比率</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>91.7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>90.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>94.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>100.0</td></tr> </table>	年次	値	基準値	100.0	H25	91.7	H26	90.7	H27	94.2	H28	100.0	目標値	100.0
	年次	値																
	基準値	100.0																
	H25	91.7																
H26	90.7																	
H27	94.2																	
H28	100.0																	
目標値	100.0																	
実績値の評価・分析			休床中の病棟再開とともに、整形外科などの診療体制の充実により医業収益が増加し、経常収支比率が改善した。															
目標達成に向けた今後の課題			地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携を行うとともに、救急患者の積極的な受入を行い、入院患者の獲得に取り組み医業収益の増に取り組む。															
担当課			市立川西病院 経営企画課															

評価指標				傾向														
3 病床利用率	定義	方向性	一日平均入院患者数÷許可病床数	<p>病床利用率</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>80.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>48.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>59.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>61.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>80.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>80.0</td></tr> </table>	年次	値	基準値	80.0	H25	48.9	H26	59.1	H27	61.1	H28	80.0	目標値	80.0
	年次	値																
	基準値	80.0																
	H25	48.9																
H26	59.1																	
H27	61.1																	
H28	80.0																	
目標値	80.0																	
実績値の評価・分析			休床中の病棟再開により、病床利用率が向上した。															
目標達成に向けた今後の課題			経営健全化計画の病床利用率に係る数値目標達成に向け、救急患者の積極的な受入を行うとともに、地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携を行い、入院患者の獲得に取り組む。 ※指標値は許可病床(250床)で積算。稼働病床数で積算すると75.2%。															
担当課			市立川西病院 経営企画課															

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向														
4 職員給与費医業収益比率	定義	方向性	職員給与費÷医業収益	<p>職員給与費医業収益比率</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>比率 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>74.7</td></tr> <tr><td>H25</td><td>75.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>73.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>73.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>65.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>65.0</td></tr> </table>	年次	比率 (%)	基準値	74.7	H25	75.5	H26	73.8	H27	73.9	H28	65.0	目標値	65.0
	年次	比率 (%)																
	基準値	74.7																
	H25	75.5																
H26	73.8																	
H27	73.9																	
H28	65.0																	
目標値	65.0																	
実績値の評価・分析		病棟再開や整形外科医師などの診療体制の充実により職員給与費が増加したが、医業収益も増加したため比率は微増となった。																
目標達成に向けた今後の課題		適切な診療体制を維持しながら、入院患者の獲得を行い医業収益の増収に取り組み、職員給与費医業収益比率の改善に取り組む。																
担当課		市立川西病院 経営企画課																

評価指標				傾向														
5 資金不足比率	定義	方向性	資金の不足額÷事業の規模	<p>資金不足比率</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>比率 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>18.9</td></tr> <tr><td>H25</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>25.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>13.8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10.0</td></tr> </table>	年次	比率 (%)	基準値	18.9	H25	16.0	H26	25.8	H27	13.8	H28	10.0	目標値	10.0
	年次	比率 (%)																
	基準値	18.9																
	H25	16.0																
H26	25.8																	
H27	13.8																	
H28	10.0																	
目標値	10.0																	
実績値の評価・分析		医師の確保等により収益が増加したが、費用も増加し収支は悪化。経営健全化計画に基づく市の支援により、資金不足比率は減少した。																
目標達成に向けた今後の課題		資金不足比率については、平成27年度に策定した経営健全化計画の目標(平成30年度:12%未満)に向け、病院の収支改善に向けた取り組みを引き続き支援していく。(経営健全化基準:20.0%)																
担当課		総合政策部 財政課																

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	20 地域福祉活動の支援と促進を図ります	コスト合計	313,073千円	610,072千円	461,914千円			1,385,059千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課	
	事業費	職員人件費	公債費	合計		
民生児童委員活動事業	26,841千円	0千円	0千円	26,841千円	健康福祉部	福祉政策課
地域福祉計画推進事業	2,341千円	8,761千円	0千円	11,102千円	健康福祉部	福祉政策課
地域福祉活動支援事業	193,978千円	39,005千円	2,730千円	235,713千円	健康福祉部	福祉政策課
災害援護資金管理事業	3,009千円	0千円	7,260千円	10,269千円	健康福祉部	福祉政策課
中国残留邦人支援事業	3,520千円	0千円	0千円	3,520千円	健康福祉部	福祉政策課
臨時福祉給付金給付事業	173,865千円	0千円	0千円	173,865千円	健康福祉部	福祉政策課
社会福祉法人監査事務事業	604千円	0千円	0千円	604千円	健康福祉部	福祉政策課
災害援護資金償還事業	7,260千円	0千円	0千円	7,260千円	健康福祉部	福祉政策課

(注)災害援護資金償還事業費については、公債費として災害援護資金管理事業に計上していることから、コスト合計には含めないものとする。

【施策評価指標】

評価指標				傾向	
1 「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができていく」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より		<p>「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができていく」と思う市民の割合</p> <p>60% 40% 20% 0%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p> <p>36.8 34.5 34.2 29.7 50.0</p>
	実績値の評価・分析		福祉デザインひろばづくり事業として継続的に取り組みを進めてきたが、年々減少している。	↗	
	目標達成に向けた今後の課題		見守り活動や支援体制を維持・充実させるため、従来の取り組みのPRを進めるとともに、新たな取り組みや団体に対し、支援方法の検討を行っていく必要がある。		
	担当課		健康福祉部 福祉政策課		

評価指標				傾向	
2 福祉ボランティア活動に参加したことがある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より		<p>福祉ボランティア活動に参加したことがある市民の割合</p> <p>40% 30% 20% 10% 0%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p> <p>25.4 23.8 22.5 21.6 33.0</p>
	実績値の評価・分析		経験者を含めた割合が、年々減少傾向にあるだけでなく、「今も参加している」割合は5.3%となっている。	↘	
	目標達成に向けた今後の課題		川西市社会福祉協議会のボランティア活動センターに対し継続的に補助を実施し、取り組みを進めているが、減少傾向が続いている。現在の取り組みを検証し、新たな団体との連携やPR方法などを模索していく必要がある。		
	担当課		健康福祉部 福祉政策課		

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心						
政策	03 安らぐ						
施策	21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します	コスト 合計	1,816,968千円	1,856,175千円	1,940,224千円		5,613,367千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
外国人等高齢者特別給付金支給事業	1,998千円	0千円	0千円	1,998千円	健康福祉部 長寿・介護保険課
老人医療扶助事業	21,184千円	0千円	0千円	21,184千円	健康福祉部 医療助成・年金課
在宅高齢者支援事業	75,461千円	17,522千円	10,383千円	103,366千円	健康福祉部 長寿・介護保険課
施設入所介護事業	68,870千円	8,761千円	76,573千円	154,204千円	健康福祉部 長寿・介護保険課
老人福祉施設支援事業	33,897千円	0千円	0千円	33,897千円	健康福祉部 福祉政策課
介護保険事業特別会計繰出金	1,625,333千円	0千円	0千円	1,625,333千円	健康福祉部 長寿・介護保険課
介護保険低所得者対策事業	242千円	0千円	0千円	242千円	健康福祉部 長寿・介護保険課

【施策評価指標】

評価指標				傾向															
1 高齢者に占める要介護(支援)認定者の割合	定義	方向性	65歳以上の介護保険被保険者のうち、要介護(要支援)認定者の割合	<p>高齢者に占める要介護(要支援)認定者の割合(2号を含む)</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>割合</th><td>16.0</td><td>17.0</td><td>17.2</td><td>17.6</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="4">18.0</td></tr> </table>	年次	H25	H26	H27	目標値	割合	16.0	17.0	17.2	17.6	目標値	18.0			
	年次	H25	H26		H27	目標値													
	割合	16.0	17.0		17.2	17.6													
	目標値	18.0																	
実績値の評価・分析		前年度から微増。介護予防教室を実施しており、このまま推移すれば目標値どおりの見込みである。																	
目標達成に向けた今後の課題		今後も、高齢社会の進展に伴う要介護(要支援)認定者数の増加が見込まれる。介護予防事業や啓発の充実を図ることで、認定率の上昇を抑えることに努めていく。																	
担当課	健康福祉部 長寿・介護保険課																		

評価指標				傾向															
2 認定者に占める居宅介護(支援)サービス受給者の割合	定義	方向性	要介護(要支援)認定者のうち、居宅サービス受給者の割合	<p>認定者に占める居宅サービス受給者の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>割合</th><td>60.0</td><td>60.8</td><td>62.3</td><td>63.5</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="4">67.6</td></tr> </table>	年次	H25	H26	H27	目標値	割合	60.0	60.8	62.3	63.5	目標値	67.6			
	年次	H25	H26		H27	目標値													
	割合	60.0	60.8		62.3	63.5													
	目標値	67.6																	
実績値の評価・分析		前年度より上昇している。今後は、さらに伸び率を向上させ目標達成をめざす。																	
目標達成に向けた今後の課題		保健、医療、介護、福祉分野の連携強化に努め、受給者の重篤化を防ぐ。高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう居宅サービスの充実を図る。																	
担当課	健康福祉部 長寿・介護保険課																		

評価指標				傾向															
3 認知症サポーターの人数	定義	方向性	認知症高齢者を見守り・支援する認知症サポーターの人数	<p>認知症サポーターの人数</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>人数</th><td>5,679</td><td>9,204</td><td>11,389</td><td>14,366</td></tr> <tr><th>目標値</th><td colspan="4">11,679</td></tr> </table>	年次	H25	H26	H27	目標値	人数	5,679	9,204	11,389	14,366	目標値	11,679			
	年次	H25	H26		H27	目標値													
	人数	5,679	9,204		11,389	14,366													
	目標値	11,679																	
実績値の評価・分析		高齢化に伴い認知症に対する関心も増えてきていることから、目標値を達成できた。																	
目標達成に向けた今後の課題		認知症高齢者の方にもやさしいまちづくりの土台となる認知症の正しい理解と認知症の方への接し方について、さらに普及・啓発に努めていく。																	
担当課	健康福祉部 長寿・介護保険課																		

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します	コスト合計	239,802千円	209,912千円	207,975千円			657,689千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
高齢者生きがいづくり推進事業	195,253千円	12,722千円	0千円	207,975千円	健康福祉部 長寿・介護保険課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「高齢者が生きがいを持って生活できる」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「高齢者が生きがいを持って生活できる」と思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		基準値より下降した。	
	目標達成に向けた今後の課題		人と交流できる場を充実させるため、地区福祉委員会などが中心となってサロンを実施している。介護カフェや認知症カフェの助成制度が始まり、各地域において活動が実施されているので、今後周知していく。	
	担当課		健康福祉部 長寿・介護保険課	

評価指標				傾向
2 シルバー人材センターの入会率	定義	方向性	60歳以上の高齢者のうち、就業機会を提供するシルバー人材センターへの入会の割合	<p>シルバー人材センターの入会率</p>
	実績値の評価・分析		会員数は増加しているが、60歳以上の高齢者数も増加しているため、入会率は基準値より横ばいに推移している。	
	目標達成に向けた今後の課題		川西市シルバー人材センターでは国の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、就業機会を新たに確保することにより、入会者が増加するように努めている。目標達成に向けて、このような活動を実施していることを、今後広く周知していく。	
	担当課		健康福祉部 長寿・介護保険課	

評価指標				傾向
3 老人クラブの入会率	定義	方向性	60歳以上の高齢者のうち、多様な社会活動を展開する老人クラブへの入会の割合	<p>老人クラブの入会率</p>
	実績値の評価・分析		会員数、クラブ数ともに増加しているが、60歳以上の高齢者数も増加しているため、目標は達成できていない。	
	目標達成に向けた今後の課題		老人クラブ以外に生きがいづくりや社会参加の場を持つ人も多いと思われるが、加入促進のための広報活動などを続ける。	
	担当課		健康福祉部 長寿・介護保険課	

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	障がい者の自立した生活と社会参加を促進します	コスト合計	2,719,568千円	2,845,135千円	3,050,601千円			8,615,304千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
外国人等障害者特別給付金支給事業	2,588千円	0千円	0千円	2,588千円	健康福祉部 障害福祉課
障害者総合支援事業	2,188,309千円	52,566千円	25,854千円	2,266,729千円	健康福祉部 障害福祉課
障害者地域生活支援事業	445,817千円	26,283千円	0千円	472,100千円	健康福祉部 障害福祉課
障害者医療扶助事業	309,184千円	0千円	0千円	309,184千円	健康福祉部 医療助成・年金課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
福祉施設入所者の地域生活移行者数(延べ人数)	定義	方向性	長期的・常態的な福祉施設入所から地域での生活へ移行した障がい者の人数(※累計。自立訓練に係る入所は除く)	<p>福祉施設入所者の地域生活移行者数(延べ人数)</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・数値は上昇しているが、地域で生活するための福祉資源が限られているため、微増にとどまっている。	
	目標達成に向けた今後の課題		・地域での生活を希望する人に対し、地域移行支援や地域定着支援の利用を進めていく。 ・地域における居住の場であるグループホームに、地域生活を支援する機能を集約して付加した地域生活支援拠点を整備する必要がある。	
	担当課		健康福祉部 障害福祉課	

評価指標				傾向
障がい者福祉施設からの一般就労者数	定義	方向性	障がい者福祉施設から一般就労した人数	<p>障がい者福祉施設からの一般就労者数</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・数値は横ばいとなっている。 ・目標値に達するために、就労支援を強化する必要がある。	
	目標達成に向けた今後の課題		・就労移行支援事業の利用促進に努める。 ・障がい児(者)地域生活・就業支援センター及びハローワークと連携し、一般就労に結びつこう支援を行う。	
	担当課		健康福祉部 障害福祉課	

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	03 安らぐ							
施策	24 生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します	コスト合計	3,546,014千円	3,381,158千円	3,486,719千円			10,413,891千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
生活支援事業	3,308,179千円	147,259千円	0千円	3,455,438千円	健康福祉部 生活支援室
住宅支援給付事業	270千円	0千円	0千円	270千円	健康福祉部 生活支援室
生活困窮者自立支援事業	13,489千円	17,522千円	0千円	31,011千円	健康福祉部 生活支援室

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 就労支援により就労した人数	定義	方向性	就労支援活用による実稼働人数	<p>就労支援により就労した人数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>94</td></tr> <tr><td>H25</td><td>95</td></tr> <tr><td>H26</td><td>110</td></tr> <tr><td>H27</td><td>102</td></tr> <tr><td>H28</td><td>120</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>120</td></tr> </table>	年度	人数	基準値	94	H25	95	H26	110	H27	102	H28	120	目標値	120
	年度	人数																
	基準値	94																
	H25	95																
H26	110																	
H27	102																	
H28	120																	
目標値	120																	
実績値の評価・分析		就労支援員がケースワーカー、ハローワークと連携し、対象者251人の内102人を就労に結びつけた。																
目標達成に向けた今後の課題		経済不況、雇用情勢の悪化等が主な要因となり生活保護世帯は増加傾向である。生活保護受給者の経済的自立に向け就労支援員、ケースワーカー、ハローワークの連携を強化し就労者数の増加につなげる必要がある。																
担当課		健康福祉部 生活支援室																

評価指標				傾向														
2 自立による生活保護世帯廃止件数	定義	方向性	実廃止世帯件数	<p>自立による生活保護世帯廃止件数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>件数</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>32</td></tr> <tr><td>H25</td><td>50</td></tr> <tr><td>H26</td><td>31</td></tr> <tr><td>H27</td><td>33</td></tr> <tr><td>H28</td><td>40</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>40</td></tr> </table>	年度	件数	基準値	32	H25	50	H26	31	H27	33	H28	40	目標値	40
	年度	件数																
	基準値	32																
	H25	50																
H26	31																	
H27	33																	
H28	40																	
目標値	40																	
実績値の評価・分析		件数は前年よりわずかに増加しているが、目標値の40人を下回っている。																
目標達成に向けた今後の課題		生活保護世帯の自立廃止に向け、就労支援員、ケースワーカー、ハローワークが連携を強化し効果的な就労支援を行い、自立による生活保護廃止に結びつける。																
担当課		健康福祉部 生活支援室																

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	04 備える							
施策	地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	コスト 合計	194,876千円	178,427千円	183,856千円			557,159千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
自主防災組織支援事業	2,775千円	0千円	0千円	2,775千円	総務部 危機管理室
火災予防事業	914千円	86,771千円	0千円	87,685千円	消防本部 予防課
消防団活動推進事業	54,815千円	8,761千円	18,647千円	82,223千円	消防本部 総務課
消防団施設整備事業	11,173千円	0千円	0千円	11,173千円	消防本部 総務課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
地震や火災などの災害 1 に対する備えができてい る市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>地震や火災などの災害に対する 備えができていない市民の割合</p>
	実績値の 評価・分析		・時間の経過とともに備えに対する意識が薄れる傾向にある。	
	目標達成 に向けた 今後の課題		・出前講座等で地震や水害などの実例も盛り込むとともに、自主防災組織間の情報交換や地域での防災訓練等を支援し、防災意識を高める必要がある。	
	担当課		総務部 危機管理室	

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	04 備える							
施策	26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	コスト合計	1,630,920千円	1,889,096千円	1,648,240千円			5,168,256千円

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
国民保護事業	30千円	0千円	0千円	30千円	総務部 危機管理室
災害救助事業	350千円	0千円	0千円	350千円	健康福祉部 福祉政策課
急傾斜地対策事業	7,200千円	0千円	0千円	7,200千円	みどり土木部 道路整備課
消防活動事業	89,017千円	785,134千円	129,073千円	1,003,224千円	消防本部 消防課
救急活動事業	17,698千円	332,079千円	0千円	349,777千円	消防本部 消防課
消防施設維持管理事業	62,062千円	8,761千円	1,477千円	72,300千円	消防本部 総務課
消防施設整備事業	3,868千円	8,761千円	517千円	13,146千円	消防本部 消防課
水防事業	4,821千円	12,722千円	1,062千円	18,605千円	総務部 危機管理室
災害対策事業	123,707千円	39,005千円	1,376千円	164,088千円	総務部 危機管理室
道路等災害復旧事業	19,520千円	0千円	0千円	19,520千円	みどり土木部 道路整備課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「災害に強いまちだ」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「災害に強いまちだ」と思う市民の割合</p> <p>60% 40% 20% 0%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p> <p>27.2 24.7 25.3 25.6 32.0</p>
	実績値の評価・分析		・微増ではあるが目標値より低い状況にあるため、取り組み強化が必要である。	
	目標達成に向けた今後の課題		・災害発生時の減災への取り組みや、事前の備え等について、市民との連携が必要である。 ・広報誌やホームページ等を通じて、市や地域の防災活動について、市民に知ってもらう必要がある。	
	担当課		総務部 危機管理室	

評価指標				傾向
2 火災現場への平均到着所要時間	定義	方向性	先着消防隊が現場到着までに要した時間	<p>火災現場への平均到着所要時間</p> <p>10分 8分 6分 4分 2分 0分</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p> <p>6.7 7.2 8.0 7.4 6.4</p>
	実績値の評価・分析		実績値としては、前年比0.6分の短縮が図れた。	
	目標達成に向けた今後の課題		所要時間は現場の位置や通報内容の精度等により変動はみられるが、取り扱った事例を再検証することでロスタイムを見極め、今後に反映させる。	
	担当課		消防本部 消防課	

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向														
3 救急現場への平均到着所要時間	定義	方向性	救急隊が現場到着までに要した時間	<p>救急現場への平均到着所要時間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>所要時間 (分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>5.8</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>	年	所要時間 (分)	基準値	5.0	H25	5.8	H26	5.9	H27	6.1	H28	6.1	目標値	5.0
	年	所要時間 (分)																
	基準値	5.0																
	H25	5.8																
H26	5.9																	
H27	6.1																	
H28	6.1																	
目標値	5.0																	
実績値の評価・分析		救急出場件数は、前年比151件の増加となっているが、件数増に伴う平均到着所要時間の増加はみられず、昨年実績値と同数字となっている。																
目標達成に向けた今後の課題		所要時間は現場の位置や通報内容の精度等により変動はみられるが、件数増に伴う所要時間の増加は見られなかったため、さらに取り扱った事例を再検証することでロスタイムを見極め、今後に反映させる。																
担当課		消防本部 消防課																

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	04 備える	コスト 合計	45,380千円	44,174千円	44,615千円			134,169千円
施策	27 生活安全の向上を図ります							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
生活安全事業	3,937千円	8,761千円	0千円	12,698千円	市民生活部 生活相談課
自衛官募集事業	45千円	0千円	0千円	45千円	総務部 危機管理室
消費生活相談事業	11,926千円	8,761千円	0千円	20,687千円	市民生活部 生活相談課
消費者啓発事業	2,350千円	8,761千円	0千円	11,111千円	市民生活部 生活相談課
計量・表示適正化推進事業	74千円	0千円	0千円	74千円	市民生活部 生活相談課

【施策評価指標】

評価指標			傾向												
1 犯罪発生件数	定義	方向性	<p>犯罪発生件数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>件数</th><td>1,831</td><td>1,794</td><td>1,433</td><td>1,318</td><td>1,550</td></tr> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	目標値	件数	1,831	1,794	1,433	1,318	1,550
	年度	H25		H26	H27	H28	目標値								
	件数	1,831		1,794	1,433	1,318	1,550								
	実績値の評価・分析	川西警察署管内の犯罪発生件数(暦年) ↓		・川西市内における自転車盗と車上ねらいの件数の減少が、犯罪発生件数の減少の主な要因と考える。											
目標達成に向けた今後の課題		・目標は達成しているが、引き続き、「川西市防犯カメラ設置事業補助金」等により、地域の自主的な防犯活動を支援していく。 ・子どもの安全確保及び犯罪の未然防止のため、小学校通学路に防犯カメラを設置することを検討する。													
担当課	市民生活部 生活相談課														

評価指標			傾向												
2 「消費者トラブルに遭わない心構えができている」と思う市民の割合	定義	方向性	<p>「消費者トラブルに遭わない心構えができている」と思う市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>割合</th><td>90.2</td><td>90.9</td><td>89.5</td><td>88.1</td><td>94.0</td></tr> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	目標値	割合	90.2	90.9	89.5	88.1	94.0
	年度	H25		H26	H27	H28	目標値								
	割合	90.2		90.9	89.5	88.1	94.0								
	実績値の評価・分析	市民実感調査より ↗		・基準値に比べ2.1ポイント低下したものの、出前講座等地道な啓発活動により高い水準で推移していると考ええる。											
目標達成に向けた今後の課題		・出前講座や広報誌の啓発記事等によって成果が出ていると思われるが、各年代の被害実情に応じた効果的な啓発活動を進めていく。													
担当課	市民生活部 生活相談課														

評価指標			傾向												
3 消費生活相談の解決率	定義	方向性	<p>消費生活相談の解決率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>解決率</th><td>99.2</td><td>98.0</td><td>96.8</td><td>97.8</td><td>100.0</td></tr> </table>	年度	H25	H26	H27	H28	目標値	解決率	99.2	98.0	96.8	97.8	100.0
	年度	H25		H26	H27	H28	目標値								
	解決率	99.2		98.0	96.8	97.8	100.0								
	実績値の評価・分析			・ワンクリック請求・架空請求などの定型的な処理が可能な相談が増加傾向にあることが若干の解決率上昇の一因と考える。											
目標達成に向けた今後の課題		・近年、複雑化・高度化する消費者トラブルに対応し、解決するには相談員の専門的な知識や経験が不可欠であるので、各種研修に参加し、相談員のさらなる能力向上をめざす。													
担当課	市民生活部 生活相談課														

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	05 守る	コスト 合計	168,726千円	153,765千円	181,534千円			504,025千円
施策	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
環境創造事業	4,525千円	21,483千円	0千円	26,008千円	美化環境部 環境創造課
林業振興事業	375千円	0千円	0千円	375千円	市民生活部 産業振興課
緑化推進事業	24,090千円	8,761千円	0千円	32,851千円	みどり土木部 公園緑地課
街路樹維持管理事業	56,582千円	17,522千円	0千円	74,104千円	みどり土木部 公園緑地課
緑地維持管理事業	30,674千円	17,522千円	0千円	48,196千円	みどり土木部 公園緑地課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 環境に配慮した行動を心かけている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>環境に配慮した行動を心かけている市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		・前年から2.3ポイント下がり、全体として低下傾向にある。	
	目標達成に向けた今後の課題		・環境基本計画や生物多様性ふるさと川西戦略に基づき、市民、事業者などと協働して、環境に配慮した行動を推し進める必要がある。 ・環境基本計画の改定時に、環境に配慮した行動を推進していきけるような項目を強化する。	
	担当課		美化環境部 環境創造課	

評価指標				傾向
2 「緑が豊かなまちだ」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「緑が豊かなまちだ」と思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		・各種講習会やみどりのフェアを開催し、緑化の推進と啓発に努めた。	
	目標達成に向けた今後の課題		・緑化協会員が減少傾向にあり、積極的に緑化思想の普及を推進する。 ・緑化周辺の支障となる草木剪定、伐採、除草を継続して進めていく。	
	担当課		みどり土木部 公園緑地課	

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	05 守る	コスト 合計	432,847千円	341,330千円	355,958千円			1,130,135千円
施策	29 快適な生活環境を守ります							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
環境衛生推進事業	19,085千円	42,966千円	0千円	62,051千円	美化環境部 美化推進課
犬の登録事業	3,593千円	0千円	0千円	3,593千円	美化環境部 美化推進課
斎場管理運営事業	109,858千円	30,244千円	6,298千円	146,400千円	美化環境部 美化推進課
環境監視事業	5,026千円	3,961千円	0千円	8,987千円	美化環境部 環境創造課
市民トイレ管理事業	5,635千円	0千円	0千円	5,635千円	美化環境部 美化推進課
し尿収集事業	95,617千円	0千円	0千円	95,617千円	美化環境部 美化推進課
阪神高速道路周辺環境監視事業	3,675千円	0千円	0千円	3,675千円	みどり土木部 道路整備課
騒音環境対策事業	7,007千円	8,761千円	0千円	15,768千円	都市政策部 都市政策室
共同利用施設管理運営事業	14,232千円	0千円	0千円	14,232千円	都市政策部 都市政策室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 自動車排出ガス(二酸化窒素)濃度	定義	方向性	加茂大気測定局における二酸化窒素の年平均値の年間98%値	<p>自動車排出ガス(二酸化窒素)濃度</p> <p>0.050ppm 0.040ppm 0.030ppm 0.020ppm</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・若干の改善傾向となっている。	
	目標達成に向けた今後の課題		・目標値を達成しているが、引き続き定期的な監視を行う。	
	担当課		美化環境部 環境創造課	

評価指標				傾向
2 猪名川水系における水質測定値(BOD値)	定義	方向性	多田浄水場における生物化学的酸素要求量(BOD)の年間75%値	<p>猪名川水系における水質測定値(BOD値)</p> <p>1.5mg/l 1.0mg/l 0.5mg/l 0.0mg/l</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・H26まで増加傾向にあったが、H27は目標値を下回り、良好な結果となった。	
	目標達成に向けた今後の課題		・目標値を環境基準の1/2に設定している。今後とも監視を続け、猪名川の水質動向を注視し、目標値以下の達成を継続したい。	
	担当課		美化環境部 環境創造課	

評価指標				傾向
3 Lden(時間帯補正等価騒音レベル)	定義	方向性	航空機騒音に係る環境基準値(I 類型)	<p>Lden(時間帯補正等価騒音レベル)</p> <p>70Lden 65Lden 60Lden 55Lden 50Lden</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		騒音値は、飛行経路の改善等により穏やかに減少している。	
	目標達成に向けた今後の課題		低騒音機の導入推進や飛行経路の改善等を要望し、環境基準の達成に努める。	
	担当課		都市政策部 都市政策室	

施策別 行政サービス成果表

視点	02 安全安心		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	05 守る	コスト 合計	3,259,377千円	3,220,640千円	3,253,197千円			9,733,214千円
施策	30 循環型社会の形成を促進します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
ごみ減量化とリサイクル推進事業	32,048千円	26,283千円	0千円	58,331千円	美化環境部 美化推進課
広域ごみ処理施設管理運営事業	1,760,286千円	113,893千円	34,735千円	1,908,914千円	美化環境部 美化推進課
最終処分対策事業	1,419千円	0千円	2,798千円	4,217千円	美化環境部 美化推進課
分別収集事業	639,163千円	623,475千円	6,911千円	1,269,549千円	美化環境部 美化推進課
市道等不法投棄処理事業	3,425千円	8,761千円	0千円	12,186千円	みどり土木部 道路管理課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「歩道や道路がきれい だ」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「歩道や道路がきれい だ」と思う市民の割合</p>
	実績値の 評価・分析	道路維持管理の迅速な対応などにより「きれいな道」を維持することで「ゴミを捨てにくい」環境づくりに努めた。		
	目標達成 に向けた 今後の課題	道路・不法投棄パトロールを継続し迅速に対応していくほか、「きれいな道づくり」の意識が地域住民に浸透するような啓発を行っていく。		
	担当課	みどり土木部 道路管理課		

評価指標				傾向
2 ごみ収集・処分に対する 満足度	定義	方向性	市民実感調査より	<p>ごみ収集・処分に対する満足度</p>
	実績値の 評価・分析	平成28年5月実施の大型ごみ有料可実施に対する個人負担額増加に伴う満足度の減少。		
	目標達成 に向けた 今後の課題	・ごみ収集後の片付けなどの更なる実施 ・カラス除けネット及びペットボトル回収ネットの配布により管理しやすい環境を構築する。		
	担当課	美化環境部 美化推進課		

評価指標				傾向
3 一人一日あたりのごみ排 出量	定義	方向性	総ごみ排出量÷365日÷年度末人口	<p>一人一日あたりのごみ排出量</p>
	実績値の 評価・分析	平成28年5月からの大型ごみ有料化に伴うかけ込み排出により増加。		
	目標達成 に向けた 今後の課題	・大型ごみ有料化の実施によるごみ減量に取り組む。 ・更なるごみ減量施策を推進し、目標の達成を図る。		
	担当課	美化環境部 美化推進課		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向
4 一人一日あたりの可燃ごみ排出量	定義	方向性	可燃ごみ排出量 ÷ 365日 ÷ 年度末人口	<p>一人一日あたりの可燃ごみ排出量</p>
	実績値の評価・分析		・平成28年5月からの大型ごみ有料化に伴い燃やすごみとして出されるごみ量が増加。	
	目標達成に向けた今後の課題		・燃やすごみに含まれる資源物の分別促進。 ・燃やすごみ内の生ごみの水切りなどごみ減量に努める。 ・ごみ袋の透明、半透明化を通じて分別意識の高揚を図る。	
	担当課	美化環境部 美化推進課		

評価指標				傾向
5 ごみのリサイクル率	定義	方向性	資源化量 ÷ 総ごみ排出量	<p>ごみのリサイクル率</p>
	実績値の評価・分析		・平成28年5月からの大型ごみ有料化に伴い総ごみ排出量が増加したことによる減少。	
	目標達成に向けた今後の課題		・ごみ袋の透明、半透明化を通じて分別意識の高揚を図る。 ・市民に対して分別に関する情報提供を強化する。	
	担当課	美化環境部 美化推進課		